



「多発性骨髄腫の CAR-T 細胞療法」アンケート結果の報告

2024 年 11 月 12 日(火) に開催いたしました表題セミナーのアンケート結果をご報告申し上げます。当日は、オンライン視聴者 292 名の方にご参加いただき、186 名の方々からアンケートの回答を頂きました。頂きましたコメントは、数が多いためやむなく抜粋でご紹介いたしました。たくさんのコメントを頂きましたこと、感謝申し上げます。

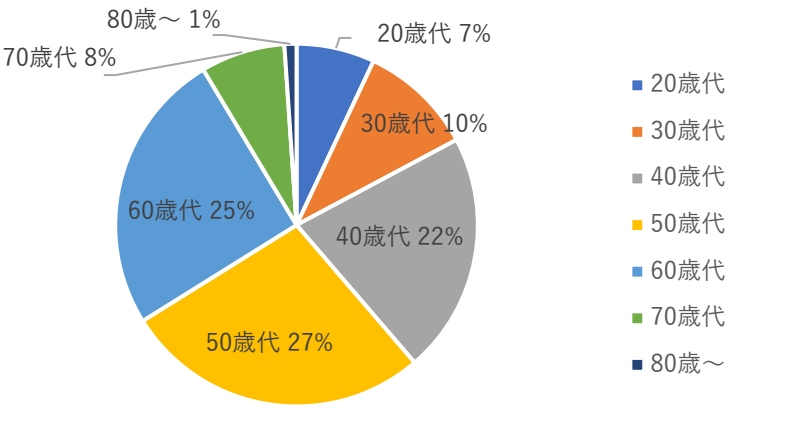
1. お住いの都道府県を教えてください (n=186)

県名	人数	県名	人数	県名	人数
東京都	26	富山県	3	山梨県	1
神奈川県	17	群馬県	3	秋田県	1
兵庫県	12	大分県	3	和歌山県	1
大阪府	12	茨城県	3	鳥取県	1
愛知県	12	岐阜県	3	福井県	1
千葉県	10	静岡県	3	宮崎県	1
福岡県	9	石川県	2	福島県	1
長野県	8	宮城県	2	三重県	1
京都府	7	山口県	2	長崎県	1
埼玉県	7	岡山県	2	山形県	1
沖縄県	6	熊本県	2	佐賀県	1
広島県	5	徳島県	2	滋賀県	1
香川県	5	栃木県	2		
北海道	4	愛媛県	2		

※参加者のいない都道府県は省略しています。

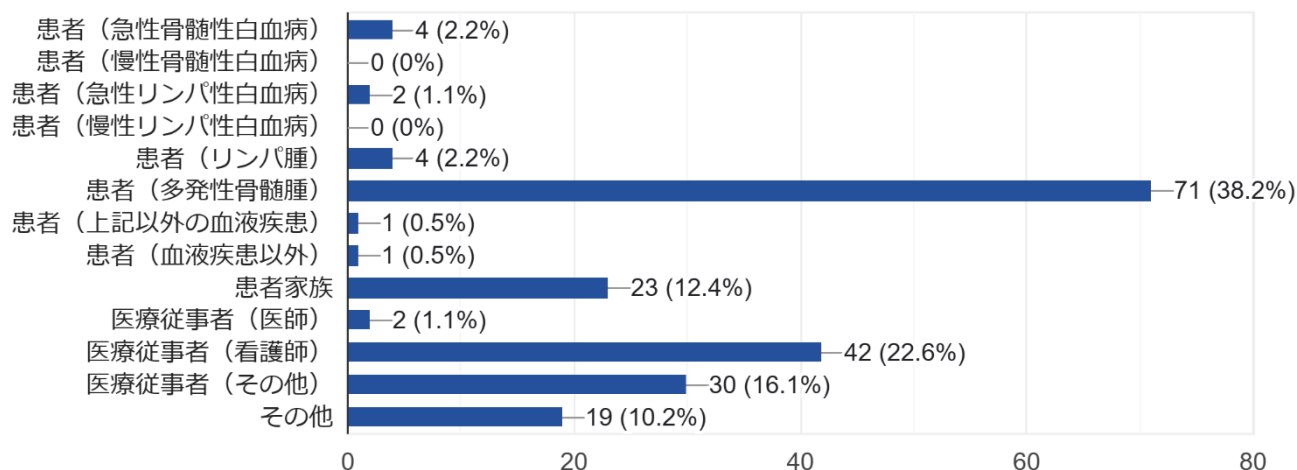
2. 年代を教えてください (n=186)

年代	人数
20 歳代	13
30 歳代	19
40 歳代	40
50 歳代	51
60 歳代	47
70 歳代	14
80 歳～	2



3. お立場を教えてください

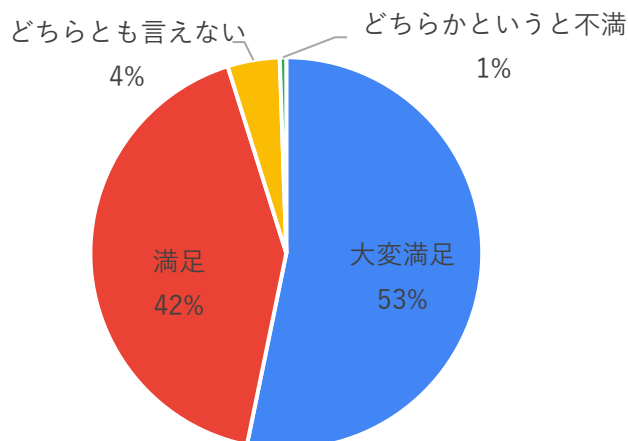
186 件の回答



その他詳細：製薬会社(5)、薬剤師(3)、治験コーディネーター(3)、臨床検査技師(2)、MSW(2)、CRO の社員、HCTC、医薬品卸、医療機器メーカー、医療通訳、一般、会社員（医療関係）、患者のパートナー、研究補助、社会保険労務士、診断薬メーカー従業員、理学療法士、臨床心理士・公認心理師

4. 知っとかナイト「多発性骨髄腫の CAR-T 細胞療法」に参加して、最も当てはまるものを選択してください (n=186)

満足度	人数
大変満足	99
満足	78
どちらとも言えない	8
どちらかという不満	1
不満	0



5. 上記で回答した理由を教えてください（抜粋）

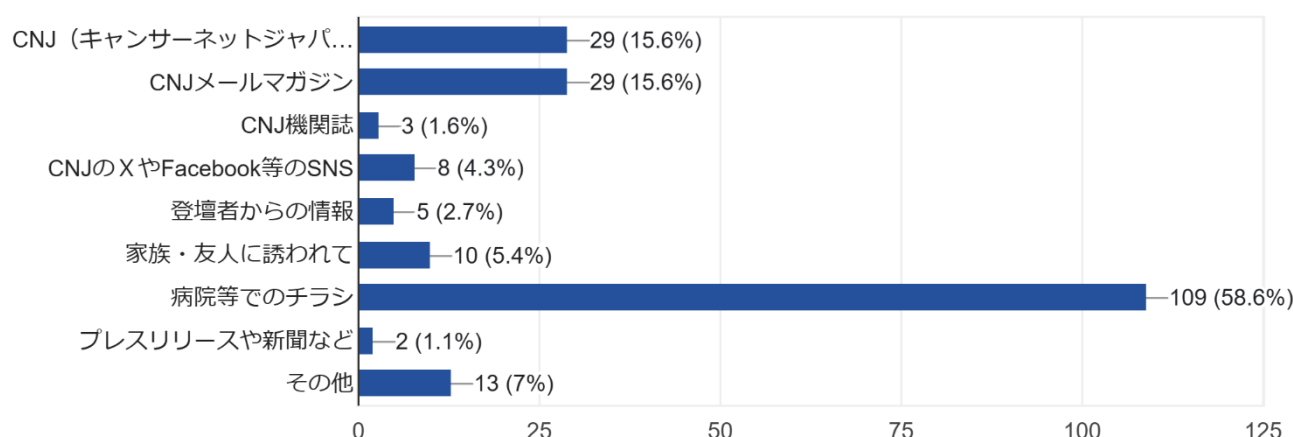
- ・ 分かりやすかった
- ・ CAR-T の詳細が分かって勉強になりました
- ・ 最新情報を知ることができたから
- ・ Q&A の時間が長くて（約 1 時間）よかった
- ・ Q&A でたくさんの質問に先生が答えてくださり、患者がどのようなことを心配しているのかを知ることができた
- ・ 治療を変更するタイミングやセカンドオピニオンのタイミングについても知ることができたため。
- ・ CAR-T のリスクについての言及がない
- ・ MM 治療方針が分かった。
- ・ QA がもっとあると良かったです。また、現状の患者数やどのような治療形式が多くとられているかも

知りたいです。

- ・ アベクマ治療後の経過例が聞けた
- ・ お話の内容が大変分かりやすく、信頼できる先生だと感じたから。
- ・ コロナ感染が始まった時期に発症他の患者さんとも話す事なく症状についての情報も少なく不安な状況でした。
- ・ ご講義が非常にわかりやすく、また患者さんからの質問に丁寧に寄り添われている塚田先生の姿勢がとても印象的でした。とても勉強になりました。
- ・ とても参考になりましたが、所々難しい内容がありました(2)
- ・ とても良い内容でしたので、復習の意味でも質疑応答の部分もアーカイブ対象にしていただけたら良いのと思いました。
- ・ メディア(カズレーザと学ぶ)でも取り上げられていたが、塚田先生のご講演でより詳しく学べた
- ・ メリット、デメリットや現在の治療法がわかりました。
- ・ もし再発しても過去の治療がまた効く可能性があること知り、大変励みになりました。
- ・ 医師の立場だけでなく患者の立場になって考えて下さる血内医師がいるのだと感激致しました。
- ・ 医師向けの講演会では聞けない本音をたくさん聞く機会になりました
- ・ 医療従事者だけでなく患者やその家族にもわかりやすい説明で理解しやすかったです。
- ・ 解説が非常に有効 書籍や見聞きする学習だけでは知り得ない患者様の症状や薬物治療要点の学びになりました。
- ・ 学会以外で臨床医から現状の治療に聞けて良かったです。
- ・ 患者さんが普段感じられているご不安や不明点に対して、塚田先生がご自身のお考えを率直に回答されていたため。
- ・ 患者は医療者としてしっかりコミュニケーションをとり、自己決定していく事が大切だと思いました。
- ・ 具体例も多く、質疑応答も参考になった。
- ・ 血液内科で仕事をしているが、医学部出身ではなく血液内科の講義を受けたことがないため大変貴重な時間でした。
- ・ 後悔をしないように、主治医の先生と話ながら治療をすすめ、上手に付き合っていきたいと思います。
- ・ 今後、再発した時の治療の選択肢として CAR-T 細胞療法や他の治療法もあるという事がわかりました。
- ・ 視聴者からの質問に一時間も時間を取ってくれて、すごいと感嘆しました。知りたいことを知ることができました。
- ・ 次の car-T 療法も開発中とのこと、期待しています
- ・ 自家移植出来ないの、CAR-T 法に期待していたので、説明がわかりやすく大変参考になりました。
- ・ 自分に当てはまるのか、よくわからなかった。
- ・ 日赤に転院し 塚田先生に 主治医になっていただきたい！と思いました。
- ・ 質問コーナーの内容は自身が思っている事と重複していて助かりました
- ・ 質問に回答していただき、ありがとうございました。夫婦で有意義な時間を持つことが出来ました。
- ・ 初めてこのような公演に参加させて頂きました。詳しく説明してくれ質問にも答えてくれ感動しました。今後 CAR-T 療法も受けることになると思うので本当にありがたい講演でした。たくさんの患者様を抱えて大変お忙しい中ありがとうございました。

- ・ 初学者(多発性骨髄腫や CAR-T 細胞療法に詳しくない者)でも分かりやすい講演だった。また、LIVE のみの質問コーナーでは、患者さんがご自身の病気や治療法についてすごく勉強されているのが伝わってきて、まだまだ勉強が足りないと実感した。
- ・ 説明が非常に分かりやすく、知りたいことを知ることができた。また、教科書的な説明や内容だけではなく、現在の実際を生言葉で説明していただいたので、大変良かった。
- ・ 先生の話はよくわかりました。こんな病気で苦しんでいるのは私達だけ？かと思うことがあったが、ほかにもみんな頑張っているんだ・・・と元気をもらった。
- ・ 専門用語もありましたが、とても丁寧で分かりやすいご説明でした
- ・ 多発性骨髄腫についての歴史や治療方法を細かく教えて頂き、大変分かりやすかったです。
- ・ 多発性骨髄腫の治療は、とにかく進歩が早い。本で勉強してもあっという間に新しい治療の選択肢がでてくるので、自分の治療に対する立ち位置を見直す上でかなり勉強になった。
- ・ 大病院では血液内科の医師は専門が分かれていて、例えばリンパ腫は詳しいが多発性骨髄腫は実はあまり専門でないといった人もいて、主治医がそういう人だと外来のときのやり取りで心配になります。しかし今日お話していただいた塚田先生のような多発性骨髄腫に詳しい専門の方の話聞くことができたのは収穫でした。CAR-T細胞療法について正しく理解できたと思います。
- ・ 当院でも二重特異性抗体製剤を使用した患者様が大学病院で CAR-T 療法実施のため転院した症例がある。当院では CAR-T 療法を実施していないため、治療法の詳細が知れてとても勉強になった。
- ・ 難しい治療内容をわかりやすくお話しいただけたことと、SDM や前向きな治療についてもお話しいただき、苦しい治療を頑張るのが大事なのではなく、生き方を含めて治療の目標を考えることができたから。
- ・ 臨床現場の経験・情報を基にしたアベクマを利用するときの、流れ、適用、効果などを聞くことができ、とても有益でした。

6. 今回のイベントをどこで知りましたか？（複数回答可） （n=186）



その他詳細：はまっこ LINE(2)、患者会(2)、Ameba の投稿者からの情報、インターネット検索
がん相談支援センターに送られてくるチラシ、ブログ、メール案内、医療従事者の方から教えて頂いた、
会社の同僚からの紹介、同僚の紹介

7. 一つのテーマでじっくりと、質疑応答の時間も多く取りました。運営についてのご意見やご感想をお寄せください（抜粋）

- ・ いろんな立場の方からの質問があり、わかりやすく答えてくださるため、とても勉強になりました。
- ・ このくらい充実すると大変参考になる。
- ・ このような内容で、医師の講演を聞ける機会はあまりないので、今後も続けて頂けたら情報源としてうれしいです。
- ・ この企画、とってもいいと思います。一つの病気を深く掘り下げて扱ってくれて、大変勉強になります。
- ・ この病気の患者にとって大きな関心事である治療法にテーマを絞り、さらに後半の質疑に時間をとっていただいたのは大変よかったと思います。ありがたいと思いました。
- ・ ご講演及び Q&A を対応された塚田先生、大変お疲れ様でした。また司会をお勤めになられた方も、できるだけ多くの質問を拾われる姿勢は、非常に頭が下がります。
- ・ とても学びが多い時間となりました。患者さんから質問に加えて、司会の池田さんが、前半パートの先生の説明の中や、後半の先生の回答の中で疑問に思われたことを深掘されており、私自身気になっていたもので、とてもすっきりしました。
- ・ 一つのテーマにしぼられ、質疑応答の時間もあり休憩もあり、大変良かったです。
- ・ 運営の方が患者の立場でもあるので、患者としての意見として話していただけてとても有り難かったです。いつもありがとうございます！
- ・ 運営はとても良かったです。質疑応答の時間が沢山あったので、患者さんが色々と質問でき不安が少しでも解消できたら良いと感じました。
- ・ 運営者さまのご尽力に感謝致します。
- ・ 皆さんの活動が本当に社会貢献だと思いました
- ・ 皆のハテナが知れて良かったです
- ・ 患者さんやご家族、医療従事者の方からの質問も多く(10 月から視聴)なかなか自分のこととして考えることがなかったので貴重なお話でした。がんの成り立ちから治療まで解説されていて、特に共同意思決定のお話はこれから色々な場面で必要になってくるとおもいました。
- ・ 講演と質疑応答の時間配分ちょうどいいと思います
- ・ 講義時間を 1 時間、質疑応答時間を 1 時間としっかり区切ったことで集中して見る事が出来た。
- ・ 今後も質疑応答時間を多くとって欲しい
- ・ 参考となる質疑応答が多かったです。
- ・ 子育て中であり、開催中は集中して見れなかったのでアーカイブはかなり有難いです。
- ・ 質疑応答で、患者サイドからなかなか担当医に聞きづらい事まで聞いてくださったのはありがたかった。患者が聞きたい事をかなり網羅していて、今回の運営には、満足してます。
- ・ 質疑応答では、疑問に思っていたことが他の人も同様であることがわかり、回答を知ることができて良かった。
- ・ 質疑応答に 1 時間と聞くと少し長いように感じましたが、実際は時間に余裕があって、とても良い配分だったと思います。
- ・ 質疑応答に時間を割いて多くの質問に答えて頂けるのは、理解を深められ、治療の実情なども知ることが出来て大変良かったです。

- ・ 質疑応答の時間がしっかりあり、聴く側としては満足感が高いと思う
- ・ 質疑応答の時間がとても良い
- ・ 質疑応答の時間が多くて、具体的な回答をしていただき、満足度が高かった
- ・ 質疑応答の時間を多くとると、患者からのいろいろな質問に回答していただけるため、有用な情報がいろいろ得られるので、とてもよいと思います。
- ・ 質問を取り上げてくれることによって、他の患者さんの考えも知ることができ、よかったです。
- ・ 実際の患者さんからの質問が、より具体的な治療方針や再発に関する事がきけて、質疑応答の一時間も大切な学びとなった
- ・ 書籍やインターネット等では知ることができないような内容を聞けてとても良かったです。
- ・ 色んな方の質問を聞いて、患者さんやそのご家族はこのような悩みを抱えているのか、と知ることができ、学びにもなった。
- ・ 多くの質問を取り上げよかったです。聞きにくい質問もチョイスしてもらい助かりました。
- ・ 多発性骨髄腫に特化したセミナーはなかなかないので、自分的には参加してよかったですと思います。
- ・ 病気の知識が少しずつ積み重なっていきました。
- ・ 多発性骨髄腫は情報が少ないので有難かった。
- ・ 大変ありがたいと思います。質疑応答時間も、具体的でとても参考になります。
- ・ 生きる希望を強く感じました
- ・ 今の主治医を信頼し治療に専念します。
- ・ 大変満足です！ありがとうございます。
- ・ 大変有効な講習と感じます 引き続きの開催を希望いたします
- ・ 短時間にもかかわらず詳しい質問を取り上げていただいておりますが、更に詳しい内容を取り上げていただきたく思います
- ・ 知識がない状態からの講義ですので、このくらいじっくり時間を取っていただけるとわかりやすく、大変ありがたいです。
- ・ 入院中に知りました。今後、ホームページ等で確認、また参加したいです。
- ・ 発性骨髄腫について丁寧に詳しくお話いただけて、有り難く思いました。全て自分に当てはまる内容でしたので、あっという間の2時間でした。ありがとうございました。
- ・ 非常に勉強になりました。質疑応答の時間が多かったのも大変有意でした。
- ・ 理解できない部分が有ったのでアーカイブ配信を待っています。
- ・ 臨床／実患者さんの生の声がお聞きでき、とても勉強になりました。
- ・

8. 今後取り上げてほしい血液がんに関するテーマがあれば教えてください

- ・ 多発性骨髄腫の二重特異性抗体について(9)
- ・ 多発性骨髄腫(7)
- ・ 多発性骨髄腫における日常生活での注意点
- ・ 多発性骨髄腫の緩和ケアや無治療になった方の体験談
- ・ 多発性骨髄腫の治療でのより細かな副作用そしてその対処法や過去と現在の治療法の違い
- ・ 多発性骨髄腫の治療の選択肢について

- ・ MM は基本的に症状があらわれてから治療を行うことが基本ですが、本日のセミナーで、適応する患者を見極めて対象であれば症状が軽い状態で治療を開始することがある、というお話がありました。早期に治療を開始する場合の基準や、今後、発症前の段階（MGUS）やくすぶり型骨髄腫で、発症を予防したり進行を抑えられる可能性があるのか
- ・ 定期的に多発性骨髄腫の治療に係る情報があればよい
- ・ 若年の多発性骨髄腫の治療、予後、どんな生活・仕事をしているか
- ・ リンパ腫(4)
- ・ 濾胞性リンパ腫
- ・ 慢性リンパ性白血病、マントル細胞リンパ腫
- ・ GVHD 治療
- ・ 移植について、ACP の関わり方について
- ・ 同種移植後の再発後の治療に関して。再移植の可能性など
- ・ 移植前の治療法、移植時の対応等
- ・ 急性骨髄性白血病
- ・ 形質細胞性白血病
- ・ 血内患者の輸血
- ・ 抗がん剤のデメリットについて
- ・ 高齢期の治療の選択について
- ・ 骨髄異形成症候群
- ・ 治験のトレンド
- ・ 治療とスポーツとの両立
- ・ 治療費について(2)
- ・ 小児 ALL
- ・ 造血幹細胞移植(2)
- ・ 造血器腫瘍遺伝子パネルの臨床実装について。造血器腫瘍治療における分子標的薬の現在と今後の展望について。
- ・ 副作用に関すること(3)
- ・ 分子標的薬について
- ・ 薬剤によって発生し易い副作用（例えば末梢神経障害等）の解決策